



友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 (号外)
(2018年7月1日発行)
発行責任者: 近藤 三千代
編集人: 阿部 亜紀

祝 第100期 新任役員研修会

3,516名のリーダーを輩出

V字整列で、UAゼンセン旗に注目する



2012年のUAゼンセンを結成と同時にスタートした、新任役員研修会が、めでたく100回を迎えました。記念すべき第100期は、6月4日(月)～6日(水)に行われました。この間、3,516名の研修生たちが新任役員研修会を受講し、全国の組合で、リーダーとなって活躍しています。

ぶれない運動の継承者を



「100回を迎えて」近藤センター長

新任役員研修会は、労働運動の歴史や理念、組合組織の役割、活動、運営と多岐にわたる知識の習得と、ロールプレイングなどの行動学習から、集団の意思決定、団結の大切さ、連帯感を実感してもらう、充実したカリキュラムが特徴です。経験を積めば能力は伸びますが、運動に必要な感性(正義感・使命感・連帯感)は鈍くなりやすいです。「鉄は熱いうちに打て」の通り、労働運動の基本を学び、ぶれない運動を継続できる役員を育てる必要があります。「友愛の丘」だからこその体感型の研修会だと自負しています。



組合の活動について学ぶパネル学習



グループ発表での熱弁

若きリーダーたちに期待する 内堀副書記長からのお祝いメッセージ



中央教育センターの新任役員研修会が記念すべき第100期を迎えた。UAゼンセン結成直後、私がセンター長に就任した2012年11月15日～17日の第1期から5年半の期間で受講者は3,516人に及ぶという。連合傘下の産別の労働運動研修でこれほど継続

した研修は他に類を見ないであろう。

私はかつて先輩(村越直嗣・元流通部会書記長)から「労働運動のこれからを担う若い君たちは『変える勇気と守るべきこだわりを持って』と諭された。多くの若い労働運動の活動家たちは「変える勇気」は絶えず持っているが、「守るべきこだわり」については先輩から継承するしかないのが現状である。100余年にわたる民主的労働運動の理念が新任役員研修会を通してこれからも若きリーダーたちに受け継がれていくことを切に願う次第である。



リフレッシュでの猿王ポーズ



スクラムホールに響き渡る「たたかうなかま」



交流会のバーベキュー 最高!



100期生 今後の活躍を誓い各地へ(福渡駅にて)

編集後記 第100期新任役員研修会を祝して、友愛の丘通信の号外を発行しました。情熱溢れる研修生に励まされ、200期へ向けて新たな一歩を踏み出しています。ご支援よろしく申し上げます。(犬四郎)